

2023(令和5)年度分【交付決定分】

研究種目・区分	所属(R5年度時点)	職位(R5年度時点)	氏名	研究課題名
1 基盤研究(S)	獣医学部	教授	菊水 健史	ヒトイヌ共生によるWell-beingの向上—身体・向社会性・社会ネットワークの強化との関連
2	獣医学部	教授	高木 哲	動物を用いた実験実習教育映像教材の開発とその評価方法の検討
3	獣医学部	教授	伊藤 潤哉	哺乳類卵の受精・胚発生を制御する亜鉛シグナルの機能解明
4	獣医学部	准教授	永澤 美保	イヌとの共同生活によるSocial exerciseの向上とヒト健康社会の実現
5 基盤研究(B)	獣医学部	准教授	西田 英高	間葉系幹細胞エクソソームを用いた治療の基盤技術の開発と脊髄再生誘導への応用
6	生命・環境科学部	教授	石原 淳子	AI画像解析を活用した集団レベルの食事評価を目的とする調査法の開発・検証
7	獣医学部	教授	吉岡 耕治	牛卵巣のAI超音波画像診断による新規生殖機能評価法の開発
8	獣医学部	講師	大我 政敏	円形精子細胞から持ち込まれたエピゲノムの消去はROSI胚の低発生能を改善するのか
9	獣医学部	講師	永根 大幹	老化細胞除去剤(セノリティクス)は放射線発がんリスクを低減するか
10	獣医学部	教授	川本 恵子	生きているが培養できない食中毒菌の検出法開発
11	生命・環境科学部	特任助教	新田 梢	キスゲ属における時計遺伝子の進化過程の解明
12	生命・環境科学部	教授	小玉 敏也	ユネスコ・エコパーク圏におけるESD促進のための問題基盤型学習の開発
13	獣医学部	講師	加瀬 ちひろ	野生動物の警戒行動を増減させる要因の研究—動物種差と視覚刺激の影響—
14	獣医学部	准教授	竹田 志郎	野生鹿肉の乳酸発酵による加工食品としての保存性向上と生理活性発現
15	生命・環境科学部	准教授	西脇 洋一	教養教育としての人工知能教育
16	獣医学部	准教授	紙透 伸治	活性酸素種から細胞を保護するpestalotioquinol Aの作用機構解析
17	生命・環境科学部	准教授	澤野 祥子	筋損傷回復時の筋線維タイプ決定における運動神経の重要性
18	獣医学部	教授	勝俣 昌也	ブタの時間栄養学—時間限定給餌で空腸の膜消化酵素活性が高くなる時間を操作する—
19	獣医学部	講師	岡本 まり子	ニコチン酸のGPER活性化によるイヌ肥満細胞腫抑制効果と腫瘍環境免疫学的解析
20	獣医学部	教授	長井 誠	ピローム解析による野生イノシシの腸内ウイルスコミュニティの解明と豚との比較
21	獣医学部	教授	村上 賢	UCP1発現調節を介したイヌ肥満予防に向けた分子・細胞生物学的検討
22	獣医学部	教授	柏崎 直巳	ブタ前核胚ガラス化保存法の改良とそのゲノム編集技術への応用に関する研究
23	獣医学部	教授	中村 紳一朗	霊長類の栄養が付与されたマウス子宮内膜症モデルの開発
24	獣医学部	講師	寺川 純平	タモキシフェンがもたらす子宮内膜の特微的細胞変化の分子基盤と薬物有害反応への関与
25	獣医学部	准教授	吉岡 亘	脂肪性肝炎の進展における炎症メディエーターに対する亜鉛制御の解明
26	生命・環境科学部	教授	大河内 由美子	将来の気候変化が大気エアロゾル中レジオネラ濃度の変動に及ぼす影響評価
27	生命・環境科学部	准教授	中野 和彦	蛍光X線分析法によるマイクロプラスチック中微量元素の精密定量法の開発
28	獣医学部	教授	田中 和明	ニホンカモシカの全ゲノム解読および地理的遺伝構造の解明
29	獣医学部	講師	根尾 櫻子	微量の肝細胞から長期培養可能な犬の人工肝臓を作出する
30 基盤研究(C)	生命・環境科学部	特任助教	新田 梢	昼咲き種と夜咲き種における時計遺伝子の比較と光の影響の解明
31	生命・環境科学部	教授	松下 暢子	精巣におけるクロマチン再構築によるDNA損傷応答の解明
32	生命・環境科学部	准教授	曾川 一幸	質量分析計によるβ-ラクタム系・カルバペネム系抗菌薬の薬剤感受性試験の臨床応用
33	生命・環境科学部	教授	武田 守	補完代替医療による口腔顔面痛の緩和・フィケミカルの局所麻酔/抗炎症薬の可能性
34	獣医学部	准教授	宗網 栄二	ヒトIPS細胞由来オルガノイドを用いたフルクトースによる疾患形成メカニズムの解明
35	生命・環境科学部	教授	小玉 敏也	人口減少地域におけるESD促進のための学校版社会的インパクト評価の開発
36	生命・環境科学部	教授	福井 智紀	科学技術と環境に関する意思決定・合意形成を支援する参加型思考ツールの開発
37	獣医学部	講師	三澤 宣雄	長頭犬種の鼻腔形状を模した構造による嗅覚受容体発現匂いセンサの高感度化
38	生命・環境科学部	准教授	小林 直樹	潜在的カビ毒産生菌種を利用したカビ毒生合成抑制メカニズムの解明
39	獣医学部	教授	大木 茂	アニマルウェルフェア配慮型畜産の経営的存立基盤の研究—加工・販売を含む類型化—
40	獣医学部	講師	加瀬 ちひろ	野生動物の警戒行動の定量的評価—動物種差と対象物の視覚刺激の影響—
41	獣医学部	准教授	塚本 篤士	ドラッグリポジショニングによる犬悪性腫瘍の新規治療法の開発
42	獣医学部	教授	田原口 智士	フクロウから分離した新規アデノウイルスの病原性と性状の解析
43	獣医学部	教授	山田 一孝	牛の臨床現場におけるDigital Radiography(DR)を利用した厳格な治療適応基準の確立
44	獣医学部	講師	相原 尚之	牛伝染性リンパ腫ウイルスによる体腔内脂肪組織特異的なB-1a細胞腫瘍化機構の解明
45	獣医学部	教授	山下 匡	炎症性腸疾患におけるスフィンゴ糖脂質による治療を目指した基礎的研究
46	獣医学部	教授	茂木 一孝	幼少期の触刺激による社会性発達神経メカニズムおよび生理的意義の解明
47	生命・環境科学部	教授	島津 徳人	TRPチャネルを標的とした関節リウマチの補完代替療法:ルテインによる予防緩和効果
48	生命・環境科学部	教授	伊藤 彰英	首都圏河川水中の希土類元素及びその他レアメタルの広域潜在的汚染調査と毒性評価
49	獣医学部	准教授	戸張 靖子	小鳥の家畜化から探る、寛容性の遺伝基盤
50	獣医学部	客員研究員	峰重 隆幸	ペリオステンに着目したネコの口腔扁平上皮癌の高悪性化機序の解明

2023(令和5)年度分【交付決定分】

51	挑戦的研究(萌芽)	獣医学部	准教授	永澤 美保	イヌにおける他者との高次交換能力の検証
52	若手研究	生命・環境科学部	講師	小手森 綾香	日本人中高年者における炎症関連食事パターンスコアの開発と妥当性検証
53		獣医学部	講師	佐藤 祐介	細菌叢の正常化と疾患治療を目的としたバクテリオファージ療法の開発
54		獣医学部	講師	梶 典幸	カハール介在細胞と腸内細菌のクロストーク解明
55		獣医学研究科(小動物外科学)	特別研究員PD	吉本 翔	イヌのキメラ抗原受容体発現T細胞の疲弊誘導因子の同定及び疲弊メカニズムの解明
56		生命・環境科学部	講師	城山 光子	日本における鞭虫症の感染源がニホンザルであることを立証し、感染予防対策を提唱する
57		獣医学部	講師	池田 裕美	常同行動の栄養学的アプローチに向けた神経基盤の解明
58		獣医学部	客員研究員	峰重 隆幸	コモンマーモセットの消耗性症候群の病態解明と治療/予防法確立
59		獣医学部	特任助手	清水 稀恵	幼若期の愛着スタイルが招く社会行動発達への影響
60		獣医学部	助教	石田 大歩	鶏卵及び低温環境に馴化させたD型インフルエンザウイルス弱毒生ワクチン候補株の開発
61		獣医学研究科(小動物外科学)	特別研究員CPD	中村 暢宏	細菌の抗ファージ防御機構を攻略する戦略的ファージライブラリーの構築
62	獣医学部	特任助教	子安 ひかり	ネコにおけるマルチモーダルなHomophilyを生む遺伝的メカニズムの解明	
63	研究活動スタート支援	生命・環境科学部	助教	小山 雄一	免疫チェックポイント分子B7-H3とオートファジーの共制御による尿路上皮癌の抑制
64		獣医学部	助教	石田 大歩	8分節D型インフルエンザウイルスを用いたM1・M2タンパク質の機能解析
65		獣医学部	助教	志賀 崇徳	豚灌流心の光学マッピングによる筋ジストロフィー心筋症初期病態の機能・形態学的解明
66		獣医学部	助教	堀 香織	乳用牛の難治性蹄病における病変部細菌群の病変深度別網羅的解析
67	特別研究員奨励費	獣医学研究科(小動物外科学)	特別研究員PD	吉本 翔	疲弊誘導シグナルを活性化シグナルに変換する犬キメラ抗原受容体発現T細胞療法の開発
68		獣医学研究科(介在動物学)	特別研究員PD	齋藤 優実	齧歯類感覚系を対象とした、オキシトシンによる共感性応答の修飾機能解明
69		獣医学研究科(介在動物学)	大学院学生	篠田 公美	イヌはどのようにヒト集団へ入ったのか:内分泌変化に基づく新奇物への反応から
70		獣医学研究科(介在動物学)	特別研究員RPD	高木 佐保	言語進化メカニズムの解明—半家畜化ネコを用いた内分泌と遺伝子の機能—
71	獣医学研究科(小動物外科学)	特別研究員CPD	中村 暢宏	PD-L1阻害薬の治療成績向上を目指した腸内細菌叢制御を介するファージ療法の確立	